



2021年8月期 決算短信〔日本基準〕（非連結）

2021年10月8日
上場取引所 東

上場会社名 株式会社マルマエ
コード番号 6264 URL <https://www.marumae.com/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 前田 俊一
問合せ先責任者 (役職名) 管理本部長 (氏名) 下舞 毅 TEL 0996-68-1140
定時株主総会開催予定日 2021年11月26日 配当支払開始予定日 2021年11月29日
有価証券報告書提出予定日 2021年11月29日
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：有（機関投資家向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2021年8月期の業績（2020年9月1日～2021年8月31日）

(1) 経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年8月期	5,369	22.4	1,207	34.7	1,200	43.9	902	30.7
2020年8月期	4,388	9.2	896	80.8	834	74.8	690	58.2

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年8月期	70.51	—	15.0	12.9	22.5
2020年8月期	53.34	—	12.5	9.7	20.4

(参考) 持分法投資損益 2021年8月期 -百万円 2020年8月期 -百万円

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年8月期	9,742	6,327	64.9	494.20
2020年8月期	8,894	5,706	64.2	445.69

(参考) 自己資本 2021年8月期 6,327百万円 2020年8月期 5,706百万円

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年8月期	1,062	△809	△291	2,505
2020年8月期	1,190	△337	△575	2,540

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産 配当率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
2020年8月期	—	5.00	—	12.00	17.00	218	31.9	4.0
2021年8月期	—	10.00	—	14.00	24.00	307	34.0	5.1
2022年8月期(予想)	—	18.00	—	18.00	36.00		37.0	

3. 2022年8月期の業績予想（2021年9月1日～2022年8月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	3,540	—	900	—	890	—	623	—	48.68
通期	7,200	—	1,800	—	1,780	—	1,245	—	97.30

(注) 2022年8月期の期首より「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号）等を適用するため、上記の業績予想は当該会計基準等を適用した後の金額となっており、対前期及び対前年同四半期増減率は記載しておりません。

※ 注記事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(2) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2021年8月期	13,053,000株	2020年8月期	13,053,000株
2021年8月期	250,196株	2020年8月期	250,196株
2021年8月期	12,802,804株	2020年8月期	12,945,749株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると断定する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっては、添付資料2ページ「1. 経営成績・財務状態に関する分析（1）経営成績に関する分析」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績・財務状態に関する分析	2
(1) 経営成績に関する分析	2
(2) 財政状態に関する分析	2
(3) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	3
2. 企業集団の状況	3
3. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
4. 財務諸表及び主な注記	4
(1) 貸借対照表	4
(2) 損益計算書	6
(3) 株主資本等変動計算書	8
(4) キャッシュ・フロー計算書	9
(5) 財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(表示方法の変更)	10
(持分法損益等)	10
(追加情報)	10
(セグメント情報等)	11
(1株当たり情報)	12
(重要な後発事象)	12
5. その他	13
(1) 役員の異動	13
(2) 生産、受注及び販売の状況	13

1. 経営成績・財務状態に関する分析

(1) 経営成績に関する分析

(当期の経営成績)

当事業年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により依然として厳しい状況にあり、個人消費についても弱さが見られました。一方、当社の主な販売分野である半導体分野におきましては、メモリ*1需要が拡大しているなか、ロジック*2向けの需要も急拡大し、市場環境は過去最高水準にあります。FPD分野におきましては、中国向けのG6 OLED(有機EL)投資が急回復し、G10.5液晶パネル投資にも回復がみられました。

これらの市場環境のもと、半導体分野では、新たな顧客で量産が始まったほか、従来顧客においても新規品種で受注が拡大しました。FPD分野では、大型電子ビーム溶接(EBW)*3を使う受注の拡大が貢献し、概ね好調に推移いたしました。

費用面につきましては、期初の想定に対しては、労務費と減価償却費の比率は低くとどまるなど低減することができましたが、期末にかけては生産能力増強を急ピッチで進めたことで直近の見通しからは上振れました。また、生産能力を超える受注が続いたことから外注費が増加したこと、生産リードタイムが長期化したことで一部の不採算製品に関連する受注損失引当金の増加も発生いたしました。さらに、新規顧客の要望を受けた試験が想定外に急増し研究開発費が増加いたしました。

これらの結果、当事業年度の業績は、売上高が5,369百万円(前年同期比22.4%増)、営業利益は1,207百万円(前年同期比34.7%増)、経常利益は1,200百万円(前年同期比43.9%増)、当期純利益は902百万円(前年同期比30.7%増)となりました。

なお、当社は精密部品事業のみの単一セグメントであるため、セグメントごとの記載を省略しております。

*1 メモリとは、記憶を保持する半導体素子です。

*2 ロジックとは、演算や論理処理を行う半導体素子です。

*3 電子ビーム溶接とは、真空中でプログラム通りに、高出力の電子ビームを使い溶接するものです。

(次期の見通し)

今後の見通しにつきましては、当社の主な販売分野である半導体分野では、ロジック向けを中心に高水準な市場環境がしばらく続く見通しであり、新たな顧客向けの受注も本格化していることから、当社の2022年8月期は、好調に推移する見通しを持っております。

FPD投資の回復傾向もしばらく継続する見通しで、大型電子ビーム溶接(EBW)を活用した受注活動を行う予定です。

その他分野につきましては、引き続き、当社の各種生産能力を活用した受注活動を行ってまいります。

設備投資につきましては、14億円強を想定しております。費用につきましては、当期見通しの売上高72億円達成にとどまらず、翌期以降に向けた生産能力拡大を進めていることから、労務費と減価償却費が増加する見通しです。

以上の状況から、次期の見通しにつきましては、売上高は7,200百万円、営業利益は1,800百万円、経常利益は1,780百万円、当期純利益は1,245百万円を予想しております。

(2) 財政状態に関する分析

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当事業年度末の総資産は、前事業年度末に比べて848百万円増加し、9,742百万円となりました。

流動資産は、前事業年度末に比べて443百万円増加し、4,813百万円となりました。これは主に売上高増加に伴う電子記録債権の増加(前事業年度末差283百万円増)、棚卸資産の増加(同159百万円増)等によるものであります。

固定資産は、前事業年度末に比べて404百万円増加し、4,929百万円となりました。これは主に機械及び装置の取得等による増加(同498百万円増)、建設仮勘定の減少(同94百万円減)等によるものであります。

(負債)

当事業年度の負債総額は、前事業年度末に比べて227百万円増加し、3,415百万円となりました。

流動負債は、前事業年度末に比べて268百万円増加し、1,452百万円となりました。これは主に未払金の増加(同185百万円増)、買掛金の増加(同133百万円増)、その他流動負債の減少(同182百万円減)等によるものであります。

固定負債は、前事業年度末に比べて41百万円減少し、1,963百万円となりました。これは主に長期借入金の返済等による減少(同47百万円減)、退職給付引当金の計上(同6百万円増)等によるものであります。

(純資産)

当事業年度末の純資産合計は、前事業年度末に比べて621百万円増加し、6,327百万円となりました。

これは主に、当期純利益の計上により利益剰余金が増加したことによるものであり、総資産に占める自己資本比率の割合は64.9%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当事業年度末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、2,505百万円となり、前事業年度末と比較して35百万円減少しております。

主な要因は、営業活動によって獲得した1,062百万円のキャッシュ・フロー及び、有形固定資産の取得等を行った投資活動によって支出した809百万円のキャッシュ・フロー並びに長期借入金の返済等の財務活動により支出した291百万円のキャッシュ・フローによるものであります。

当事業年度における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は、1,062百万円(前年同期は1,190百万円の獲得)となりました。これは主に税引前当期純利益1,222百万円、減価償却費640百万円を計上したこと、売上債権の増加による資金の減少309百万円、法人税等の支払額364百万円、未払消費税の減少183百万円等があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、809百万円(前年同期は337百万円の使用)となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出805百万円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、291百万円(前年同期は575百万円の使用)となりました。これは長期借入れによる収入400百万円、長期借入金の返済による支出409百万円、配当金の支払額281百万円等によるものであります。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2017年 8月期	2018年 8月期	2019年 8月期	2020年 8月期	2021年 8月期
自己資本比率(%)	57.9	63.5	63.7	64.2	64.9
時価ベースの自己資本比率(%)	278.1	187.8	138.1	127.4	263.3
キャッシュ・フロー対有利子負債比率(年)	2.5	2.8	2.5	2.0	2.2
インタレスト・カバレッジ・レシオ(倍)	29.2	50.7	56.1	66.3	65.2

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

(注) 1. 株式時価総額は自己株式を除く発行済株式総数をベースに計算しております。

2. キャッシュ・フローは、営業活動キャッシュ・フローを利用しております。

3. 有利子負債は貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。

(3) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は、株主に対する利益還元につきましては、重要な経営施策の一つとして位置づけています。

今後の利益配分に関しましては、長期的な視野に立った投資の実施とともに、経営成績及び財務状況を勘案しつつ、収益性に基づく利益配分を目指し、配当金の計算は、配当性向の考えを取り入れております。なお、中期的な配当性向の目途といたしましては、現中期事業計画の期間中(2019年8月期から2022年8月期)は、30%以上を目途とすることを目標としております。また、最終損益で損失を計上しない限りは、通年で最低10円の安定配当を行う方針としております。

また、次期につきましては、中間配当18円、期末配当18円の合計36円を予定しております。

2. 企業集団の状況

当社は、子会社及び関連会社を有しておりませんので、該当事項はありません。

3. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は連結財務諸表を作成していないため、国際会計基準に基づく財務諸表を作成するための体制整備の負担等を考慮し、日本基準に基づき財務諸表を作成しております。

4. 財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年8月31日)	当事業年度 (2021年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,540,381	2,505,018
受取手形	18,229	15,807
売掛金	701,275	729,829
電子記録債権	656,828	940,160
製品	6,402	15,410
仕掛品	426,814	570,241
原材料及び貯蔵品	5,256	12,226
前払費用	13,750	24,025
その他	3,619	4,342
貸倒引当金	△2,888	△3,537
流動資産合計	4,369,671	4,813,526
固定資産		
有形固定資産		
建物	2,051,891	2,150,367
減価償却累計額	△458,588	△558,679
建物(純額)	1,593,303	1,591,688
構築物	131,626	147,582
減価償却累計額	△61,748	△69,430
構築物(純額)	69,877	78,152
機械及び装置	4,659,742	5,629,322
減価償却累計額	△2,884,457	△3,355,730
機械及び装置(純額)	1,775,284	2,273,591
車両運搬具	101,001	104,453
減価償却累計額	△75,932	△88,536
車両運搬具(純額)	25,068	15,916
工具、器具及び備品	54,557	56,974
減価償却累計額	△39,683	△44,199
工具、器具及び備品(純額)	14,874	12,775
土地	766,549	766,549
リース資産	4,075	4,075
減価償却累計額	△339	△1,018
リース資産(純額)	3,735	3,056
建設仮勘定	109,163	14,922
有形固定資産合計	4,357,856	4,756,653
無形固定資産		
ソフトウェア	65,198	51,776
その他	45	26
無形固定資産合計	65,244	51,803

(単位:千円)

	前事業年度 (2020年8月31日)	当事業年度 (2021年8月31日)
投資その他の資産		
投資有価証券	7,000	7,000
出資金	111	111
長期前払費用	3,464	2,309
繰延税金資産	90,428	110,535
その他	690	690
投資その他の資産合計	101,694	120,646
固定資産合計	4,524,795	4,929,102
資産合計	8,894,466	9,742,628
負債の部		
流動負債		
買掛金	115,698	249,270
1年内返済予定の長期借入金	389,512	427,012
リース債務	679	679
未払金	93,343	278,632
未払費用	123,315	164,489
未払法人税等	244,704	219,853
前受金	3,356	48,067
預り金	7,060	8,462
前受収益	245	143
受注損失引当金	19,500	36,046
株式報酬引当金	—	16,000
その他	186,298	3,715
流動負債合計	1,183,714	1,452,372
固定負債		
長期借入金	1,970,706	1,923,694
長期リース債務	3,056	2,377
退職給付引当金	18,953	25,251
資産除去債務	1,069	1,069
受入保証金	2,700	2,700
その他	8,172	8,029
固定負債合計	2,004,658	1,963,121
負債合計	3,188,372	3,415,494
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,241,157	1,241,157
資本剰余金		
資本準備金	1,125,157	1,125,157
その他資本剰余金		
自己株式処分差益	813,184	813,184
資本剰余金合計	1,938,342	1,938,342
利益剰余金		
利益準備金	14,112	14,112
その他利益剰余金		
圧縮積立金	15,847	11,885
繰越利益剰余金	2,658,606	3,283,609
利益剰余金合計	2,688,566	3,309,607
自己株式	△161,971	△161,971
株主資本合計	5,706,094	6,327,134
純資産合計	5,706,094	6,327,134
負債純資産合計	8,894,466	9,742,628

(2) 損益計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2019年9月1日 至 2020年8月31日)	当事業年度 (自 2020年9月1日 至 2021年8月31日)
売上高	4,388,522	5,369,639
売上原価		
製品期首たな卸高	12,186	6,402
当期製品製造原価	2,990,118	3,566,754
合計	3,002,305	3,573,157
他勘定振替高	13,666	23,895
賃貸原価	26,083	22,721
製品期末たな卸高	6,402	19,703
売上原価	3,008,319	3,552,280
売上総利益	1,380,203	1,817,358
販売費及び一般管理費		
役員報酬	94,115	98,785
給料及び手当	130,375	167,057
退職給付費用	614	1,704
株式報酬費用	—	16,000
減価償却費	31,777	28,610
租税公課	36,796	29,599
支払手数料	62,622	84,373
貸倒引当金繰入額	1,137	649
研究開発費	28,259	62,238
その他	98,268	120,995
販売費及び一般管理費合計	483,966	610,012
営業利益	896,236	1,207,345
営業外収益		
受取利息	472	32
受取配当金	2	2
為替差益	—	3,746
受取保険金	—	4,392
その他	1,575	2,689
営業外収益合計	2,050	10,862
営業外費用		
支払利息	17,961	16,232
為替差損	770	—
支払補償費	44,461	1,825
その他	1,008	1
営業外費用合計	64,201	18,058
経常利益	834,086	1,200,149
特別利益		
固定資産売却益	4,272	3,635
補助金収入	138,499	18,814
特別利益合計	142,771	22,449
特別損失		
固定資産除却損	22	158
特別損失合計	22	158
税引前当期純利益	976,835	1,222,441
法人税、住民税及び事業税	307,073	339,845
法人税等調整額	△20,799	△20,106
法人税等合計	286,273	319,738
当期純利益	690,561	902,702

製造原価明細書

区分	注記 番号	前事業年度 (自 2019年9月1日 至 2020年8月31日)		当事業年度 (自 2020年9月1日 至 2021年8月31日)	
		金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)
I 材料費		652,541	21.8	844,629	22.6
II 労務費		919,799	30.7	1,098,188	29.4
III 経費		1,424,852	47.5	1,787,224	47.9
当期総製造費用	※	2,997,193	100.0	3,730,042	100.0
期首仕掛品たな卸高		419,739		426,814	
合計		3,416,933		4,156,857	
期末仕掛品たな卸高		426,814		590,102	
当期製品製造原価		2,990,118		3,566,754	

原価計算の方法

原価計算の方法は、個別原価計算によっております。

(注) ※ 主な内訳は次のとおりであります。

項目	前事業年度 (自 2019年9月1日 至 2020年8月31日)	当事業年度 (自 2020年9月1日 至 2021年8月31日)
外注加工費 (千円)	512,515	665,994
減価償却費 (千円)	510,532	577,946
受注損失引当金繰入額 (千円)	6,200	40,700

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 2019年9月1日 至 2020年8月31日)

(単位:千円)

	株主資本										純資産合計
	資本金	資本剰余金			利益剰余金			自己株式	株主資本合計		
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金					
					圧縮積立金	繰越利益剰余金					
当期首残高	1,241,157	1,125,157	813,184	1,938,342	14,112	20,369	2,094,051	2,128,533	△106	5,307,926	5,307,926
当期変動額											
剰余金の配当							△130,528	△130,528		△130,528	△130,528
圧縮積立金の取崩						△4,521	4,521	-		-	-
当期純利益							690,561	690,561		690,561	690,561
自己株式の取得								-	△161,865	△161,865	△161,865
当期変動額合計	-	-	-	-	-	△4,521	564,555	560,033	△161,865	398,168	398,168
当期末残高	1,241,157	1,125,157	813,184	1,938,342	14,112	15,847	2,658,606	2,688,566	△161,971	5,706,094	5,706,094

当事業年度(自 2020年9月1日 至 2021年8月31日)

(単位:千円)

	株主資本										純資産合計
	資本金	資本剰余金			利益剰余金			自己株式	株主資本合計		
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金					
					圧縮積立金	繰越利益剰余金					
当期首残高	1,241,157	1,125,157	813,184	1,938,342	14,112	15,847	2,658,606	2,688,566	△161,971	5,706,094	5,706,094
当期変動額											
剰余金の配当							△281,661	△281,661		△281,661	△281,661
圧縮積立金の取崩						△3,961	3,961	-		-	-
当期純利益							902,702	902,702		902,702	902,702
当期変動額合計	-	-	-	-	-	△3,961	625,002	621,040	-	621,040	621,040
当期末残高	1,241,157	1,125,157	813,184	1,938,342	14,112	11,885	3,283,609	3,309,607	△161,971	6,327,134	6,327,134

(4) キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前事業年度 (自 2019年9月1日 至 2020年8月31日)	当事業年度 (自 2020年9月1日 至 2021年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前当期純利益	976,835	1,222,441
減価償却費	568,393	640,248
貸倒引当金の増減額(△は減少)	1,137	649
受注損失引当金の増減額(△は減少)	6,200	16,546
株式報酬引当金の増減額(△は減少)	—	16,000
退職給付引当金の増減額(△は減少)	4,499	6,298
受取利息及び受取配当金	△474	△34
受取保険金	—	△4,392
支払利息	17,961	16,232
為替差損益(△は益)	770	△3,746
固定資産売却益	△4,272	△3,635
固定資産除却損	22	158
売上債権の増減額(△は増加)	△541,808	△309,464
たな卸資産の増減額(△は増加)	△2,625	△159,404
仕入債務の増減額(△は減少)	△7,441	133,572
未収消費税等の増減額(△は増加)	—	△253
未払消費税等の増減額(△は減少)	167,182	△183,303
その他の流動資産の増減額(△は増加)	15,080	△10,677
その他の流動負債の増減額(△は減少)	58,681	51,914
その他	△12,246	9,578
小計	1,247,893	1,438,728
利息及び配当金の受取額	474	34
利息の支払額	△17,767	△16,291
保険金の受取額	—	4,392
法人税等の還付額	42,155	—
法人税等の支払額	△82,236	△364,685
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,190,519	1,062,178
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△331,571	△805,878
有形固定資産の売却による収入	4,272	3,635
無形固定資産の取得による支出	△10,061	△7,644
投資活動によるキャッシュ・フロー	△337,360	△809,886
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	—	100,000
短期借入金の返済による支出	—	△100,000
長期借入れによる収入	100,000	400,000
長期借入金の返済による支出	△382,012	△409,512
自己株式の取得による支出	△161,865	—
配当金の支払額	△131,734	△281,209
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△339	△679
財務活動によるキャッシュ・フロー	△575,951	△291,400
現金及び現金同等物に係る換算差額	△770	3,746
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	276,437	△35,363
現金及び現金同等物の期首残高	2,263,944	2,540,381
現金及び現金同等物の期末残高	2,540,381	2,505,018

(5) 財務諸表に関する注記事項
(継続企業の前提に関する注記)
該当事項はありません。

(表示方法の変更)
(損益計算書)

前事業年度において、独立掲記していた「営業外収益」の「受取地代家賃」、「受取家賃」及び「受取手数料」は、営業外収益の合計額の100分の10以下となったため、当事業年度より「その他」に含めて表示しております。この表示方法の変更を反映させるため、前事業年度の財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前事業年度の損益計算書において、「営業外収益」の「受取地代家賃」293千円、「受取家賃」580千円及び「受取手数料」546千円は、「その他」として組み替えております。

(持分法損益等)

前事業年度(自 2019年9月1日 至 2020年8月31日)
該当事項はありません。

当事業年度(自 2020年9月1日 至 2021年8月31日)
該当事項はありません。

(追加情報)

「新型コロナウイルス(COVID-19)感染症の感染拡大の影響に関する会計上の見積り」

新型コロナウイルス(COVID-19)感染症の世界的な感染拡大に伴い、経済や企業活動に広範な影響が生じており、依然として国内経済先行き不透明な状況が続くものと推測しております。

当社では、当事業年度末現在において入手可能な外部の情報等を踏まえ、当社の業績に与える影響は軽微であると前提のもと、会計上の見積りを行っております。

なお、新型コロナウイルス(COVID-19)感染症の感染状況が長期化した場合や、その経済環境への影響が変化した場合には、翌事業年度以降の当社の財政状態、経営成績に影響が及ぶ可能性があります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前事業年度(自 2019年9月1日 至 2020年8月31日)

当社は、精密部品事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

当事業年度(自 2020年9月1日 至 2021年8月31日)

当社は、精密部品事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

【関連情報】

前事業年度(自 2019年9月1日 至 2020年8月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

当社は、単一セグメントであり、区分すべき製品及びサービスの区分が存在しないため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の氏名又は名称	売上高	関連するセグメント名
日本発条株式会社	1,347,614	精密部品事業
東京エレクトロン宮城株式会社	1,260,932	精密部品事業
東京エレクトロン テクノロジーソリューションズ株式会社	636,481	精密部品事業
東京エレクトロン九州株式会社	475,091	精密部品事業

当事業年度(自 2020年9月1日 至 2021年8月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

当社は、単一セグメントであり、区分すべき製品及びサービスの区分が存在しないため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の氏名又は名称	売上高	関連するセグメント名
日本発条株式会社	2,024,934	精密部品事業
東京エレクトロン宮城株式会社	1,394,737	精密部品事業

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前事業年度(自 2019年9月1日 至 2020年8月31日)
該当事項はありません。

当事業年度(自 2020年9月1日 至 2021年8月31日)
該当事項はありません。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前事業年度(自 2019年9月1日 至 2020年8月31日)
該当事項はありません。

当事業年度(自 2020年9月1日 至 2021年8月31日)
該当事項はありません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

前事業年度(自 2019年9月1日 至 2020年8月31日)
該当事項はありません。

当事業年度(自 2020年9月1日 至 2021年8月31日)
該当事項はありません。

(1株当たり情報)

項目	前事業年度 (自 2019年9月1日 至 2020年8月31日)	当事業年度 (自 2020年9月1日 至 2021年8月31日)
1株当たり純資産額	445円69銭	494円20銭
1株当たり当期純利益金額	53円34銭	70円51銭

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額は、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前事業年度 (自 2019年9月1日 至 2020年8月31日)	当事業年度 (自 2020年9月1日 至 2021年8月31日)
当期純利益金額(千円)	690,561	902,702
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る当期純利益金額(千円)	690,561	902,702
期中平均株式数(株)	12,945,749	12,802,804

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

(開示の省略)

重要な会計方針、貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書、キャッシュ・フロー計算書、金融商品、有価証券、退職給付、税効果会計、資産除去債務、関連当事者情報に関する注記事項については、決算短信における開示の重要性が大きくないと考えられるため開示を省略しております。

5. その他

(1) 役員の異動

該当事項はありません。

(2) 生産、受注及び販売の状況

①生産実績

当事業年度の生産実績を製品分野別に示すと、次のとおりであります。

区分	当事業年度 (自 2020年9月1日 至 2021年8月31日)	対前年増減率 (%)
半導体製造装置関連部品 (千円)	4,232,048	32.4
F P D製造装置関連部品 (千円)	841,777	△20.2
その他 (千円)	168,168	697.6
合計 (千円)	5,241,993	22.3

(注) 1. 金額は販売価格によっております。

2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

②受注状況

当事業年度の受注状況を製品分野別に示すと、次のとおりであります。

区分	当事業年度 (自 2020年9月1日 至 2021年8月31日)			
	受注高	対前年増減率 (%)	受注残高	対前年増減率 (%)
半導体製造装置関連部品 (千円)	4,850,980	43.1	1,209,518	108.6
F P D製造装置関連部品 (千円)	1,160,752	24.3	527,572	157.1
その他 (千円)	229,729	923.4	67,728	998.3
合計 (千円)	6,241,463	43.6	1,804,819	128.1

(注) 1. 金額は販売価格によっております。

2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

③販売実績

当事業年度の販売実績を製品分野別に示すと、次のとおりであります。

区分	当事業年度 (自 2020年9月1日 至 2021年8月31日)	対前年増減率 (%)
半導体製造装置関連部品 (千円)	4,221,291	31.8
F P D製造装置関連部品 (千円)	838,357	△21.5
その他 (千円)	309,990	165.1
合計 (千円)	5,369,639	22.4

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。